

「急性虚血性脳卒中における多時相 CT angiography を用いた 差分画像の有用性の検討」

この研究に関する科学的・倫理的妥当性については、当院の「臨床研究審査委員会」で審議され、その実施について病院長より許可を得ています。この研究の実施期間は、2022 年 10 月 19 日から 2024 年 1 月 31 日までを予定しています。

【研究の意義・目的】

急性虚血性脳卒中の予後には迅速な診断と治療が必要です。診断には主に MRI や CT が用いられます。MRI では拡散強調画像や FLAIR という撮影方法により新旧の脳梗塞巣を高感度で検出することが可能で、MR angiography では原因となる狭窄または閉塞血管も描出することができます。一方 CT では主に CT angiography で狭窄または閉塞血管を描出することで脳梗塞巣を予測しますので、MRI と比較すると脳梗塞巣の検出では劣る傾向にあります。そこで、本研究の目的は急性虚血性脳卒中が疑われる患者さまに対し多時相 CT angiography から差分画像を作成し、脳梗塞巣の病態を把握できる補助画像が作成できるか検討することです。

【研究の対象】

小倉記念病院において 2022 年 1 月 1 日から 2023 年 9 月 30 日まで、急性虚血性脳卒中が疑われ造影 CT 検査を施行した患者さんを対象とします。

【研究の方法および情報の取扱い】

ご提供いただく情報は、診断名、年齢、身長、体重、既往歴、CT 画像データなどです。これらの情報は、通常の診療で得られた診療記録より抽出しますので、新たに身体的及び経済的負担が生じることはありません。

得られた情報は、個人情報漏えいを防ぐため、お名前、住所などの個人を特定する情報を削除した上で研究用の番号で管理し、小倉記念病院病院長の責任の下、保管・管理されます。また、本研究の結果について学会発表や論文掲載等を行う際は、個人が特定できる情報が含まれないようにした上で、公表します。

【利益相反について】

この研究は特定の研究者や企業の利益の為にを行うものではありません。また、この研究により患者さんの利益（効果や安全性など）が損なわれることもありません。

【連絡・問い合わせ先】

この研究や個人情報の取扱いに関するご質問やご相談等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。またご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。

なお、対象となる患者さんの情報がこの研究に用いられることについて、患者さん（もしくは患者さんの代理人）にご了承いただけない場合には、研究対象としませんのでお申し出ください。その場合でも診療上の不利益が生じることはありません。

連絡先：

小倉記念病院 放射線技師部 担当者 坂本 和翔
〒802-8555 北九州市小倉北区浅野三丁目2番1号
電話 093-511-2000（代）